

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
1 市民ニーズに応える蔵書構築を目指します									
		1 資料の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化コーナーの資料を充実させる。 [指標] 多言語資料の受入冊数 [目標値] 40冊 [参考] 平成26年度 29冊 所蔵冊数 1,792冊 ・分類「民法」「社会福祉」「教育」「医学」「家政学」「スポーツ」の蔵書を重点的に収集する。 [指標] 指定分野の蔵書の受入冊数 [目標値] 前年度比5%増(2,375冊) [参考] 平成26年度 2,262冊 所蔵冊数 44,483冊 <p>※蔵書には雑誌を含みませんが、平成26年度では抽出条件に雑誌を含んでおりました。平成27年度から雑誌を含まないように修正しました。これを受けて、参考値、目標値を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福生市に関する資料を充実させる。 [指標] 福生市に関する資料の総冊数(分館も含む) [目標値] 福生市に関する資料 前年度比5%増(11,533冊) [参考] 平成26年度所蔵冊数 10,984冊 <p>※平成26年度人口一人当たりの受入冊数 0.26冊</p>	[多言語資料の受入冊数] 47冊 【目標達成率】117.5% [指定分野の蔵書の受入冊数] 2,186冊 【目標達成率】92.0% [参考] 所蔵冊数 44,851冊 <図書館コメント> 目標数までは達成しなかったが、指定分野の充実に努めた。	[福生市に関する資料の総冊数(分館も含む)] 11,783冊 【目標達成率】102.2% ※平成27年度人口一人当たりの受入冊数 0.25冊	A	A	本年度は「資料の充実」に即して、3つの事業目標を設定しています。取組結果では、指定分野の資料収集の目標が若干達成できなかったものの、多文化資料、福生市に関する資料では目標を上回っています。また、わかぎり図書館「セルフケアコーナー」の貸出冊数を増加させるについては、目標値に達しなかったものの、平成26年度の貸出実績と比較すると2.3%上回っています。これらの取組結果は、図書館サービスの努力が反映していると考えられます。 【意見】多文化資料の収集には、海外の絵本を加えるようにすること。指定分野の資料収集では、市民のニーズにあった新しい分野の収集に努めるように、定期的に分野を見直すこと。福生市に関する資料の収集には、民間企業の資料や市民発行のパンフレットなど市民からの寄贈を受け入れるようなPRをすることなどが求められます。また、各図書館の機能分担では、中央図書館、わかたけ図書館、武蔵野台図書館とともに事業目標を設定すべきと考えます。併せて、各館のPRも図書館新聞の発行などにより行うことも必要です。 ※「人口一人当たりの受入冊数」は、成果指標1, 2のように、「市民一人当たり」とするとよいでしょう。
		2 各図書館の機能分担の明確化	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・わかぎり図書館「セルフケアコーナー」の貸出冊数を増加させる。 [指標] 貸出冊数 [目標値] 前年度比5%増(1,627冊) [参考] 平成26年度 1,550冊 	[貸出冊数] 1,586冊 【目標達成率】97.5% <図書館コメント> 『わかぎり新聞』でPRを行うことにより、平成26年度よりも貸出冊数は増加した。		A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います									
		1 乳幼児サービスの充実	継続	・乳児に絵本を手渡す活動「赤ちゃんはじめての絵本事業」や「パパマクラス」など関係機関との連携事業を継続する。 [指 標] 事業の実施回数 [目標値] 前年度と同程度 [参 考] 平成26年度 (保健センター) 21回 すくすくベビークラス(年3回)、赤ちゃんはじめての絵本事業(月1回)、パパマクラス赤ちゃん絵本の紹介(年6回) (市政出前講座) 1回 扶桑会館(年1回) (出前おはなし会) 12回 子ども家庭支援センターおはなし会(年12回)	数値	[事業の実施回数] (保健センター) 21回 すくすくベビークラス(年3回)、赤ちゃんはじめての絵本事業(月1回、計12回)、パパマクラス赤ちゃん絵本の紹介(年6回) 【目標達成率】100% (市政出前講座) 1回 扶桑会館(年1回) 【目標達成率】100% (出前おはなし会) 12回 子ども家庭支援センターおはなし会(年12回) 【目標達成率】100%	A		「乳幼児サービスの充実」では、前年度事業を目標にして達成ができました。「児童サービスの充実」の指標である、市内小学生の登録率については、漸減傾向があり、対応策が求められます。「青少年サービスの充実」でも、前年度事業の目標を達成できました。「高齢者サービスの充実」では、大活字本の貸出冊数を大幅に伸ばすことができ、事業効果の見える活動を行った結果がわかります。 【意見】乳児サービスと幼児サービスとに分けて事業目標を設定すること。市政出前講座の内容を明記すべきこと。「前年度と同程度」との表記とせず、具体的な数値を目標値に挙げておくこと。以上の検討を求めます。また、「児童サービスの充実」では、「児童の利用回数を高める」との目標に「市内小学生の登録率」は対応してないと思われます。貸出を受けた人数や貸出冊数を数値とするとよいでしょう。授業での社会科見学のときも、登録や利用を促すPRをする必要があります。青少年サービスでは、目標値を増やすことが必要です。そのために小中学校長会や司書教諭・学校司書への積極的な働きかけをすべきと考えます。特に、第一中学校、第二中学校への取り組みが必要です。 高齢者サービスでは、蔵書冊数の増加と福祉センター等での展示を行うなどのPRが必要と考えます。
		2 児童サービスの充実	継続	・夏休み読書推進イベントのスタンプカードなど児童に読書の楽しさを伝える各種イベントを開催し、児童の利用回数を高める。 [指 標] 市内小学生の登録率 [目標値] 60% [参 考] 平成26年度 55.5% (登録小学生数 1,375人 全児童数 2,476人)	数値	[市内小学生の登録率] 54.8% (登録小学生数1,336人 全児童数2,437人) 【目標達成率】 91.3% <図書館コメント> 学校図書館の充実により減少した可能性がある。	B	A	
		3 青少年(ヤングアダルト)サービスの充実	継続	・学校において読書の啓蒙活動を行う。 [指 標] ブックトークの実施回数 [目標値] 前年度と同程度 [参 考] 平成26年度 4回実施(都立福生高等学校 2回、都立多摩工業高等学校、福生第三中学校)	数値	[ブックトークの実施回数] 4回(都立多摩工業高等学校 2回、都立福生高等学校、福生第三中学校) 【目標達成率】100%	A		
		4 高齢者サービスの充実	拡充	・大活字本の貸出冊数を増加させる。 [指 標] 貸出冊数 [目標値] 前年度比5%増(526冊) [参 考] 平成26年度貸出冊数 501冊	数値	[貸出冊数] 1,415冊 【目標達成率】 269.0% <図書館コメント> 蔵書の増加と展示を行ったことにより、貸出冊数が増えた。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
3 視聴覚資料の充実を図ります									
	1 聴覚資料の充実	拡充		・CDの購入回数を増加させる。 [指標] CDの購入回数 [目標値] 2回 [参考] 平成26年度 1回(貸出点数 26,529点)	数値	[CDの購入回数] 2回(貸出点数 27,024点) 【目標達成率】100% <図書館コメント> 購入回数を増やすことにより、より迅速に利用者のニーズに応えることができた。	A		聴覚資料の充実については、CDの購入回数を指標として年2回の目標を達成しています。ここでは購入点数は不明ですが、貸出点数の増加がみられます。 映像資料の充実については、DVDの貸出点数を指標として目標値には達しなかったものの、平成26年度の貸出点数を上回ったことは評価したいと考えます。
	2 映像資料の充実	拡充		・DVDの貸出点数を増加させる。 [指標] DVDの貸出点数 [目標値] 前年度比5%増(9,431点) [参考] 平成26年度 8,982点	数値	[DVDの貸出点数] 9,078点 【目標達成率】96.3% <図書館コメント> 目標を達成することはできなかったが、購入時期を早めるとともに、初めての試みとしてDVDの貸出数ランキングを掲示して、利用が活発になるように努めた結果、平成26年度より貸出点数は増加した。	A	A	【意見】聴覚資料の指標は購入回数ですが、映像資料は貸出点数になっていて、アンバランスですので、統一的な指標の検討が必要です。聴覚資料の購入回数を4回にするとともに購入点数の表記も必要です。また、利用状況を分析して購入時の参考にするのも考えられます。DVD貸出数ランキングについては、全図書館に掲示することや図書館ホームページに掲載することも必要でしょう。また、新着CD、DVDを図書館新聞等でPRすることも必要です。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります									
		1 多文化サービスの充実	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)					対面音訳サービスを開始したにもかかわらず、利用件数0件は残念な結果です。今後利用があることを期待します。宅配サービスについても目標が達成できていません。共に目標が達成できなかったことを見直し、改善が必要と考えます。
		2 障害者サービスの充実	拡充	・音訳ボランティアサークルと協働し、対面音訳サービスを実施する。 [指標] 対面音訳サービスの利用件数 [目標値] 利用件数 5件	数値	[対面音訳サービスの利用件数] 0件 【目標達成率】0% <図書館コメント> 広報等でPRを実施し10月よりサービスを開始した。バリアフリー映画上映体験会を1回行うなどPRに努めたが、より効果的なPRの方法を検討する必要がある。	C	C	【意見】社会福祉協議会との連携を検討するとともに、福祉サービス事業者へのPRも必要でしょう。また、老人ホーム等への宅配サービスの拡大も考えられます。
		3 来館が困難な人へのサービスの充実	継続	・宅配サービスを継続して実施する。 [指標] 宅配サービスの実施件数 [目標値] 110件(平成25年度件数) [参考] 平成26年度宅配件数 105件	数値	[宅配サービスの実施件数] 83件 【目標達成率】75.5% <図書館コメント> サービス内容のPR不足と、高齢者が多いため、利用者の都合により訪問回数が減少した。	C	C	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います									
		1 市民文化活動の拠点	拡充	・図書館の行事のお知らせや新刊案内及び、地域会館の利用案内などの広報活動を町会・自治会の回覧を活用し、定期的に行う。 [指標] 回覧用『わかたけニュース』発行回数 [目標値] 年6回	数値	[回覧用『わかたけニュース』発行回数] 6回(7月、8月、10月、11月、12月、3月) [発行部数] 1回につき 201部(熊川住宅自治会、南町会、内出町会、南田園一丁目町会、二丁目町会) 【目標達成率】100%	A	A	「市民文化活動の拠点」では、『わかたけニュース』を年6回発行し、町会・自治会の協力を得て回覧し、目標を達成することができました。ここではその効果についても知りたいところです。わかたけ会館・図書館での講演会は、60人の参加者を得て目標値を上回り、地域住民の図書館への期待が示されています。
		2 読書会や作者との交流会などの開催	継続	・市民文化活動の拠点となるため、わかたけ会館・図書館リニューアルオープン記念講演会として、新たに新設した『暮らしのサポートコーナー』に関連した講演会を開催する。 [指標] 参加者数 [目標値] 50人	数値	[参加者数] 60人 【目標達成率】120% [演題] 「暮らしに笑顔を」 ～アイルランド音楽と落語のハーモニー～	A	A	【意見】『わかざり新聞』が発行され、『武蔵野台だより』の発行も予定されていますので、町会・自治会へ回覧を依頼するなど他館と同様の活動をする必要があります。また、全市的には町会連合会との連携も検討してはどうでしょう。「暮らしのサポートコーナー」を図書館ホームページ等で紹介する必要があります。
6 西多摩の市町村との連携を継続します									
		1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続	継続	・西多摩との広域利用、昭島市との相互利用の促進を図る。 [指標] 西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数 [目標値] 前年度比3%増(127,975点) [参考] 平成26年度 西多摩 101,005点 昭島市 23,243点 合計124,248点	数値	[西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数] 西多摩 104,131点 昭島市 29,601点 合計 133,732点 【目標達成率】104.5% <図書館コメント> 昭島市民にとって利便性の高い、わかたけ図書館がリニューアルオープンしたことに加え、昭島市民図書館の休館の影響が考えられる。	A	A	他市町村図書館との広域利用、相互利用については、貸出点数の目標値を上回り、成果がありました。今後も他市町村図書館との連携を継続するようにしてください。 【意見】福生市立図書館が他市町村へ貸出した点数は、目標として示されていますが、福生市民が他市町村図書館を利用した数値がわかりませんので、参考数値として示す必要があります。ここは、貸出点数と借入点数の両方を目標値とすることも考えられます。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します									
		1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置	新規	平成28年度、図書館から離れている地域での本の受け渡しなど既存の施設との協力体制を検討する。				-	拝島駅、福生駅への返却ポストの設置は市民の要望もあり、設置したことの効果が数値として示されています。 【意見】市内の公共施設等への返却ポストの増設も検討する必要があります。 「図書館から離れた地域への対策」については、一歩ずつ進めていく必要がありますので、取組結果に明記することも考えられます。
		2 駅などへのブックポストの設置	新規	・拝島駅、福生駅に返却ポストを設置し、返却の利便性を高める。	記述	拝島駅、福生駅に返却ポストを設置し、返却の利便性を高めた。 [駅回収冊数] 延べ日数 250日 拝島駅 7,262冊 福生駅 10,671冊 合計 17,933冊(全返却点数の3.5%)	A	A	
		3 福祉バスの停留所を中央図書館付近に設置	新規	時期未定(コース見直し時に要望する。)				-	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - :次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
8 より利用しやすく快適な図書館を目指します									
		1 読書ができる空間の工夫	継続	現在の状態を継続する。				-	<p>「読書・学習コーナーの設置」では、わかたけ会館・図書館のリニューアルに伴い、キャレルデスク4席を新設したことが利用増に繋がったものと考えられます。目標値を上回っていますので、サービスの継続をください。また、わかたけ図書館内の案内・掲示の整備についても、リニューアルにあわせて整備できました。中央図書館土日祝日の時間延長は検討が未実施であり、計画通りにはいきませんでした。</p> <p>【意見】キャレルデスクについては、武蔵野台図書館への設置が求められます。また、利用者アンケートを行って、実際に利用している市民の要望把握に努めてください。</p> <p>「分かりやすい案内や掲示の推進」では、中央図書館について、入口がわかりにくい等の意見がありますので、早急な対策が必要です。</p> <p>「利用しやすい開館日時」では、現在午前10時開館ですが、開館時間を早めることも検討されたら如何でしょうか。</p>
		2 「読書・学習コーナー」の設置	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・キャレルデスク(個人用学習机)の利用件数を増やす。 [指標] キャレルデスクの利用件数 [目標値] 前年度比5%増(2,041件) [参考] 平成26年度 中央図書館1,496件 わかぎり図書館448件 合計1,944件	数値	[キャレルデスクの利用件数] 3館合計 2,471件 中央図書館 1,537件 わかぎり図書館 340件 わかたけ図書館 594件 【目標達成率】121.1% <図書館コメント> わかたけ図書館に4席新設した。 他の2館では、キャレルデスクの提供を継続して行い、初めての利用者には、利用方法の説明を積極的に行った。	A		
		3 分かりやすい案内や掲示の推進	継続	・わかたけ図書館館内の案内・掲示の整備を進める。	記述	福生市公共サイン整備方針に基づき、わかたけ図書館内に10箇所案内表示板を設置し、利便性の向上に努めた。	A		
		4 中央図書館のエントランスの工夫	継続	次年度以降検討			-		
		5 利用しやすい開館日時	継続	・中央図書館土日祝日の時間延長を検討する。	記述	未検討	C		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します									
		1 震災対策を推進	継続	分館は書架を固定しているが、中央図書館は改修時に対策を講じる。				-	「学習室、児童室、トイレなどの安全確保」では、チェックリストを活用した見回りを毎日行っていることで、安全が確保できた結果につながっていると考えます。引き続き安全の確保をお願いします。また、館内の利用環境を維持するためには、きめ細かな修繕が必要と考えます。 【意見】「中央図書館施設の維持・管理」では、利用者にとって、より安全で安心して利用できる図書館の環境維持は重要なことなので、修繕等の迅速な対応が必要です。また、「震災対策を推進」では、いつ起こるかが分からない地震のため、緊急に対応することが必要です。
		2 学習室、児童室、トイレなどの安全確保	継続	・館内の安全確保に努める。 [指 標] 館内における安全確保 中央図書館で随時、見回りに関してチェックリストを活用しながら行う。	記述	[館内における安全確保] すべての開館日において、毎日、チェックリストを活用しながら見回りを行った。	A	A	
		3 中央図書館施設の維持・管理(新規設定)	継続	・中央図書館施設の維持・管理に努める。 [指 標] 館内利用環境の整備 中央図書館の館内利用環境の整備のため、必要な改修を適時実施する。 [参 考] 平成26年度 修繕件数 10件 修繕料 1,158,300円	記述	[館内利用環境の整備] 館内見回り等により把握した修繕必要箇所について、随時修繕を行った。 平成27年度 修繕件数 16件 修繕料 2,501,499円	A	A	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - :次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館									
10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します									
		1 相談業務(レファレンス・サービスの充実)	継続	・レファレンス相談を継続して実施する。 [指標]レファレンス相談件数 [目標値]前年度比3%増(2,936件) [参考]平成26年度 2,850件	数値	[レファレンス相談件数] 4,777件 【目標達成率】162.7% <図書館コメント> カウンターでのクイックレファレンス(読書相談)の把握に努め、所蔵確認などの短時間で確認可能な問合せには、積極的にカウンターで対応した。	A		「相談業務の充実」については、カウンターでの積極的な対応が目標値を大幅に上回ったことに繋がったと考えます。「起業等の支援」では、目標値を7ポイント程下回りました。図書館コメントにあるように、利用者のニーズに対応したきめ細かな選書が重要と考えます。また、ビジネスしごと支援コーナーのしごとに関する資料の貸出冊数については、平成26年度の貸出冊数を上回ったものの、目標値には達しませんでした。ここでも、きめ細かな選書が重要と考えます。 【意見】レファレンス件数については、他館での件数把握も必要と考えます。ビジネス支援サービスについては、市役所シティセールス推進課や市商工会、ハローワークと連携してサービスの拡充・充実をはかることが必要です。さらに、「図書館だより」等を活用してPRに努めることを求めます。ビジネスしごと支援コーナーの資料の貸出冊数は毎年減少していますので、強力な対策を講じる必要があります。
		2 市民生活で必要とする資料・情報の収集と提供	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)					
		3 起業等の支援	継続	・中央図書館ビジネスしごと支援コーナーのビジネスに関する資料貸出冊数を増加させる。 [指標]ビジネスに関する資料貸出冊数 [目標値]前年度比5%増(6,542冊) [参考]平成26年度 6,231冊(所蔵冊数 4,083冊)	数値	[ビジネスに関する資料貸出冊数] 6,089冊 【目標達成率】93.1% <図書館コメント> 平成26年度の実績を下回ったものの、一定の需要は認められる。今後、より利用者のニーズに沿った選書に努める。 (平成27年度 所蔵冊数 4,423冊)	B		
		4 就職、転職、職業能力開発等の資料・情報の収集と提供	継続	・中央図書館ビジネスしごと支援コーナーのしごとに関する資料貸出冊数を増加させる。 [指標]しごとに関する資料貸出冊数 [目標値]前年度比5%増(1,676冊) [参考]平成26年度 1,597冊(所蔵冊数 915冊)	数値	[しごとに関する資料貸出冊数] 1,646冊 【目標達成率】98.2% <図書館コメント> 目標値にはわずかに至らなかったが、平成26年度よりも貸出冊数が増加した。 (平成27年度 所蔵冊数 954冊)	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館									
11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します									
		1 情報通信技術を活用した図書館サービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・新着お知らせメールの案内書誌数を増加させる。 [指標] 案内書誌数 (配信件数) [目標値] 前年度比5%増(1,419冊) (メール配信件数 517件) [参考] 平成26年度 案内書誌数 1,351冊 (メール配信件数 492件)	数値	[案内書誌数] 2,231冊 【目標達成率】157.2% (メール配信件数607件) 【目標達成率】117.4% ※案内書誌数とは、新着お知らせメールで案内した資料数のことです。メール1件につき複数の書誌が送信されることがあります。	A		「情報通信技術を利用した図書館サービスの充実」では、配信件数が目標値を大幅に上回りました。今後も利用者が増えるようにPRIに努めるとよいでしょう。「商用データベースの活用」では、目標は達成されていますが、職員向けの講習会を実施した結果が、市民利用に繋がることが大切です。「インターネット講座の開催」でも、目標は達成されていますが、参加者数が記載されていませんので、講座開催の成果がわかりません。「ホームページの充実」では、アクセス件数の増加があり目標が達成されていますが、充実させるための方策(更新頻度、内容等)を明記してください。「パソコン利用環境の確保」では、現状の環境が維持されていることはわかりますが、何らかのレベルアップを目標にすることが必要です。 【意見】「新着お知らせメール」は市民に役立つ図書館サービスとして注目したいところです。このところは、メール配信を登録した人数を把握しながら、利用を増やしていくことが必要と考えます。「商用データベースの職員向け講習会」は、職員のスキルアップとして、【基本目標6】2「職員の内外の研修への参加」の目標にすべきところです。ここでは、市民を対象に「自ら利用したくなるようなデータベース活用研修」を目標に設定すべきと考えます。また、ホームページの充実では、「こどもページ」の充実も目標の中に設定するとよいでしょう。「パソコン利用環境の確保」では、各図書館での利用頻度を把握し、必要であれば台数を増やすことも考慮すべきです。
		2 デジタル資料の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料のデジタル資料の増加を目指す。 	記述	26年度に内容確認した資料をデジタル化しようとしたが、できなかった。	C		
		3 商用データベースの活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベーススキルの向上を図る。 [指標] 商用データベースの職員向け講習会の実施 [目標値] 1件 [参考] 平成26年度 未実施	数値	[商用データベースの職員向け講習会の実施] 1件 【目標達成率】100% <図書館コメント> 平成27年9月1日に日経テレコン21の講習会を実施。新規配属職員を中心に14名参加し、職員のスキル向上に努めた。	A		
		4 インターネット講座の開催	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けに、利用者用インターネット端末の利用講座を開催する。 [指標] 講座の開催 [目標値] 1回	数値	[講座の開催] 1回 【目標達成率】100% <図書館コメント> 平成28年3月27日に図書館お役立ち講座を実施した。	A		
		5 ホームページの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを充実させてアクセス数の向上を目指す。 [指標] アクセス件数 [目標値] 前年度比3%増(201,663件) [参考] 平成26年度 195,789件	数値	[アクセス件数] 212,520件 【目標達成率】105.4%	A		
		6 パソコン利用環境の確保	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がパソコンを利用できる環境を維持する。 [指標] 利用環境の確保 [参考] 利用者用インターネット端末:中央図書館2台、各分館1台、計5台	記述	これまでの環境を維持した。 [利用環境の確保] 利用者用インターネット端末:中央図書館2台、各分館1台、計5台	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します									
		1 学校教育への支援を推進	継続	・児童、生徒の調べ学習・自由研究の支援や、学校司書と連携し調べ学習支援および学校への貸出を継続する。 [指標] 学校への調べ学習支援冊数 [目標値] 前年度比5%増(773冊) [参考] 平成26年度 736冊	数値	[学校への調べ学習支援冊数] 平成27年度 988冊 【目標達成率】127.8%	A		「学校教育への支援を推進」では、学校司書が配置され定着したことが、調べ学習支援冊数が大幅に増加したことに繋がったものと思われます。「学校司書と連携し学校図書館の充実」では、学校図書館への配本サービスを実施したことにより、図書配本回収実績が263回、配本回収冊数が9,409冊になり、学校司書との連携の効果が顕著に表れています。「保育所などとの連携」でも、訪問回数目標値を上回って連携実績が現れています。 【意見】「学校教育への支援を推進」の取組結果には、<図書館コメント>がありません。他の項目でも同様ですが、図書館としてもコメントを明確に記載すべきと考えます。「学校司書と連携し学校図書館の充実」では、ここに記載されておりましたが、推薦図書リストの作成も支援冊数の大幅増加に関係していると考えられますので、引き続き作成をお願いします。 「保育所などとの連携」では、児童館の状況を調査し、必要であれば、出前おはなし会を開催するなどが必要と考えます。
		2 学校司書と連携し学校図書館の充実	継続	・児童、生徒の調べ学習・自由研究を支援するため、学校図書館への配本サービスを実施する。	記述	学校図書館への配本サービスを実施した。 [図書配本回収実績] 延べ回数263回(図書館⇔学校106回 学校⇔学校157回) 冊数9,409冊(図書館⇔学校8,702冊 学校⇔学校707冊)	A	A	
		3 保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館などとの連携	継続	・保育施設などへの出前おはなし会を継続して行う。 [指標] 保育所等訪問数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成26年度 55回 (子ども家庭支援センター 12回、さくらクラブ 10回、福生杉ノ子保育園 1回、ちやいれっく福生駅前保育園 1回、加美平保育園 3回、保健センター 21回、出前講座 1回、子育てなんでも相談 1回、わかたけクラブ 5回)	数値	[保育所等訪問数] 平成27年度 62回 【目標達成率】112.7% (子ども家庭支援センター 12回、さくらクラブ 10回、福生杉ノ子保育園 1回、牛浜幼稚園 1回、ちやいれっく福生駅前保育園 1回、弥生保育園 1回、加美平保育園 3回、福生多摩幼稚園小規模保育園乳幼児部ひよこ 1回、保健センター 21回、出前講座 1回、子育てなんでも相談 9回、放課後等デイサービスあそぼーよ 1回)	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します									
	4	病院との連携	継続	・福生病院キッズルームの「みにみにとしょかん」を継続する。 [指標] 福生病院への貸出冊数 [目標値] 前年度比5%増(320冊) [参考] 平成26年度 福生病院団体貸出305冊(年3回)	数値	[福生病院への貸出冊数] 413冊(年4回) 【目標達成率】129.1% <図書館コメント> 病院への訪問回数が増えたことにより貸出冊数が増加した。	A		「病院との連携」では、福生病院キッズルームの「みにみにとしょかん」への貸出事業を継続し、目標値の大幅増を達成しました。今後とも病院側の要望を聞きながらの事業展開を期待します。「公民館やその利用団体との連携」では、目標を達成しています。今後も積極的な連携強化を期待します。
	5	公民館やその利用団体との連携	新規	・公民館主催事業資料を展示する。 [指標] 展示回数 [目標値] 8回	数値	[展示回数] 9回 「笑って学べる 落語で学ぶ 相続・遺言・後見」 「『平和への願い』～戦争・迫害・犠牲から学ぶ～」2館で実施 「『平和事業』 ヒロシマ・ナガサキ『原爆と人間』パネル展と体験を聴く会」 「茶室福庵でおもてなし ～風呂敷の魅力再発見！～ ◇江戸風呂敷展示と説明会◇」2館で実施 「私の毎日を幸せにする！ママのための整理収納講座」 「保育室併設講座『子育てを応援！ワンデイカフェをプロデュース』」 「盆栽ワークショップ」 【目標達成率】112.5% <図書館コメント> 今後も継続し、公民館との連携を進める。	A	A	【意見】「公民館やその利用団体との連携」では、事業効果が大きいので、引き続き実施してください。
	6	高齢者施設との連携	新規	平成28年度検討予定			-		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します									
		1 おはなしボランティアとの協働を推進	継続	・おはなしボランティアを増やす。 [指標] おはなしボランティア数 [目標値] 前年度比5%増(延べ60人) [参考] 平成26年度 延べ57人	数値	[おはなしボランティア数] 延べ62人 【目標達成率】103.3%	A		「おはなしボランティアとの協働を推進」では、目標値を達成しています。<図書館コメント>として、どのようなおはなし会にボランティアが参加したかを明示するとよいでしょう。また、「ボランティアグループのネットワーク化を推進」では、ボランティア団体の活動状況の把握に努めていることは評価できます。 【意見】ボランティア団体の活動を把握した情報を、(いつ、どこで、おはなし会があるか等)地域の人たちに伝えることでボランティア参加者や活動団体を増やすことに繋がると考えます。
		2 おはなしボランティアグループのネットワーク化を推進	継続	・市内で活動するおはなしボランティアの活動状況を把握する。	記述	読み聞かせ資料を借りた利用者が実演した場所をリスト化し、活動状況等の把握に努めた。	A	A	
		3 視力障害がある人を対象にしたボランティアとの協働を推進	新規	■基本目標1-4-2で回答(p4)	/	/	/	/	
		4 宅配サービスを推進	継続	■基本目標1-4-3で回答(p4)	/	/	/	/	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - : 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します									
		1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信	継続	・おはなしボランティアとの協働での活動を推進する。 [指 標] おはなし会の実施回数 [目標値] 前年度と同程度 [参 考] 平成26年度 81回	数値	[おはなし会の実施回数] 101回 【目標達成率】124.7%	A		「おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信」では、目標値を大きく上回ることができました。また、「学校への広報活動の推進」でも、各種の行事の案内を配布するなど活動実績を評価できます。 【意見】「おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信」では、これ以上の成果をあげるためには、グループメンバーの充実や職員の活用を考えることが必要です。
		2 読書に関するグループや事業所などとの連携	新規	平成28年度検討予定			-	A	
		3 学校への広報活動の推進	継続	・学校への広報活動の推進を図る。 [指 標] 図書館事業の広報活動の実施	記述	原画展、クリスマスコンサート、夏のイベントのお知らせ、すいせん図書等の案内を市内小学校在籍児童全員に配布した。 また、『中高生向けすいせん図書ブックレットZANMAI』を、市内中学校及び都立福生高等学校在籍生徒全員と都立多摩工業高等学校1年生に配布した。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - :次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します									
		4 図書館の利用を広げるための広報活動の推進	継続	<p>・図書館外への広報活動の推進を図る。 [指標] 図書館新着図書案内の発行、ホームページの更新</p>	記述	<p>[図書館新着図書案内の発行、ホームページの更新] 【新着案内発行回数】 中央 12回(月1回)、わかぎり 12回(月1回)、わかたけ 24回(月2回)、武蔵野台 34回(週1回又は2週間に1回) 【HPのお知らせとイベントカレンダーを随時更新】 【中央図書館広報活動】 ・『中高生向けすいせん図書ブックレットZANMAI』の配布(配布先)市内中学校・高等学校、都内各区市町村立図書館 ・『いろは新聞』の配布(配布先)市内中学校・高等学校、都内各区市町村立図書館 ・『小学生向けすいせん図書』の配布(配布先)市内小学校、都内各区市町村立図書館 ・『絵本作家・鳥の巣研究家鈴木まもる講演会 絵本と鳥の巣の不思議』のポスター・チラシ配布(配布先)市内公民館・幼稚園・保育園、都内各区市町村立図書館 ・『原画展』のポスター・チラシ(配布先)市内公民館・幼稚園・保育園、都内各区市町村立図書館 ・『ちゅうおうとしょかんこどもだより』の配布(配布先)保健センター・家庭支援センター・おはなし会 ・『中央図書館おはなし会のチラシ』の配布(配布先)保健センター・家庭支援センター・おはなし会 【わかぎり図書館広報活動】 ・回覧用『わかぎり新聞』を発行 1回(配布先)加美第一・二町会 【わかたけ図書館広報活動】 ・回覧用『わかたけニュース』を発行 6回(配布先)熊川住宅自治会、南町会、内出町会、南田園一丁目町会、南田園二丁目町会 【武蔵野台図書館広報活動】 ・夏休みに開催するイベントのチラシの配布(配布先)武蔵野台図書館近隣の小学校</p>	A	A	<p>「図書館の利用を広げるための広報活動の推進」では、各館の「新着案内」は多数回発行され、中央図書館、地域図書館の広報活動も活発に行われました。取組結果では、ホームページの更新状況が記載されていませんので、今後は記載するようにしてください。</p> <p>【意見】地域図書館のサービスの特徴として、武蔵野台図書館「ビジネスコーナー」、わかたけ図書館「暮らしのサポートコーナー」、わかぎり図書館「セルフケアコーナー」がありますが、図書館ホームページには紹介がありません。具体的には、ホームページの「施設案内」から、例えば「わかぎり図書館」をクリックすると、図書館画像、開館時間、蔵書等の記載があります。図書館画像の右が白く空いていますので、ここに「セルフケアコーナー」のPRをするなどの工夫が必要と考えます。「中央図書館だより」の発行を検討する必要があります。図書館全体のPRをするため、図書館だよりの発行を考慮する必要があります。</p>

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館									
15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます									
		1 福生市に関する資料の収集の徹底	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)					「地域資料の調査・研究の相談、支援の充実」では、ホームページに新しいテーマが4件追加され合計で11件となりました。紹介されている資料数も多く、各資料が図書館所蔵データとリンクしていますので、利用者にとっては利便性が高いと思います。今後もテーマの拡充に努めてください。 【意見】テーマリストを際限なく追加することはできませんので、適宜見直しをすることも大切です。
		2 地域に関する資料のデジタル化の推進	継続	■基本目標3-11-2で回答(p10)					
		3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実	継続	・ホームページの地域資料コーナーの充実を図り、福生に関するテーマリストを作成・追加し、提供する。 [指標] 福生に関するテーマリスト追加件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成26年度追加件数 3件	数値	[福生に関するテーマリスト追加件数] 4件 【目標達成率】133.3% 「多摩の植物」 「創刊40周年 多摩のあゆみ」 「美しい多摩の詩」 「横田基地を知る」 <図書館コメント> 平成26年度より1件多く実施し、地域資料のPRに努めた。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館									
16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます									
		1 行政機関サービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「福生市に関する新聞記事」の配信を継続して行う。また、庁内貸出サービスを継続する。 [指標] 庁内貸出点数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成26年度 3,179点	数値	[庁内貸出点数] 3,755点 【目標達成率】118.1% <図書館コメント> 庁内貸出サービスのPR活動を実施したことにより、庁内貸出点数が増加した。	A	A	「行政機関サービスの充実」および「議会図書室との連携・協力」では、それぞれ、庁内貸出点数、行政レファレンス件数が大幅に増加しています。行政へのサービスも図書館の基本的で重要なサービスですので、今後もサービスの充実に努めてください。
		2 議会図書室との連携・協力	継続	<ul style="list-style-type: none"> 行政レファレンスサービスを継続して行う。 [指標] 行政レファレンスの件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成26年度 10件	数値	[行政レファレンスの件数] 35件 【目標達成率】350% <図書館コメント> 行政レファレンスのPR活動を実施したことにより、行政レファレンス件数が増加した。	A	A	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成27年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館									
1 「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	継続			・人事異動時に有資格者の配置を図る。 [指標] 有資格者の割合 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成26年度有資格者3名配置 割合 70.6% (平成26年4月1日:17人中12人 再任用1名含む)	数値	[有資格者の割合] 52.9%(平成27年4月1日:17人中9人) 【目標達成率】74.9% 〈図書館コメント〉 人事異動により有資格者が減になった。	C		『福生市人材育成基本方針』に基づく専門的職員の育成では、平成26年度に有資格者3名が配置され、70.6%になったにもかかわらず、平成27年度の人事異動で有資格者割合が52.9%に下がってしまいました。市職員の人事異動というやむを得ない要因があったとはいえ、評価は低くなりました。「職員の内外の研修への参加」では、参加件数は増えていますが、参加人数が減っています。【基本目標3】11-3での研修をここに移動するなど、庁内、館内の研修を加える検討が必要と考えます。また、「図書館運営の自己点検・評価、第三者評価及びその公表」については、目標どおりに実施されていると評価します。 【意見】毎年定期的にも実施される人事異動による影響の高い目標値を「前年度と同程度」としたのでは、年度により上下変動を起こすことは予想できると思います。図書館職員に対する司書の割合など安定的な指標を検討する必要があります。
2 職員の内外の研修への参加	継続			・図書館関係の研修に参加する。 [指標] 研修参加件数・人数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成26年度 研修参加件数 16件 参加人数延べ39人	数値	[研修参加件数・人数] 研修参加件数 23件、参加人数延べ36人 【目標達成率】参加件数 143.8% 参加人数 92.3% 〈図書館コメント〉 三多摩地域資料研修会や東京都立図書館主催の研修(児童・レファレンスなど)、多摩地域公立図書館大会等に参加了。	A		
3 図書館運営の自己点検・評価の実施	新規			・平成26年度図書館運営の自己点検・評価を実施する。	記述	「福生市立図書館基本計画」の基本目標に沿って、自己点検・評価を実施した。	A	B	
4 図書館協議会等による第三者評価の実施	新規			・平成26年度図書館運営の自己点検結果を基に、福生市図書館協議会により第三者評価を実施する。	記述	福生市図書館協議会による第三者評価を実施した。	A		
5 市民への公表	新規			・平成26年度の自己点検評価及び第三者評価表を作成し、市民に公表する。	記述	「平成26年度福生市立図書館基本計画点検評価表」を作成し、HP等で市民に公表した。	A		

成果指標

	指 標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目 標	目標年度	備 考
1	市民一人当たりの貸出冊数（本・雑誌）	10.8冊	10.8冊	10.0冊	10.5冊				12冊	平成30年度	
2	市民一人当たりの貸出点数（視聴覚）	0.7点	0.74点	0.69点	0.68冊				1.1点	平成30年度	
3	登録者率	23.1%	23.6%	20.4%	21.9%				30%	平成30年度	
4	大活字本の所蔵冊数	1,370冊	1,395冊	1,395冊	1,557冊				2,000冊	平成30年度	
5	高齢者ボランティアの登録人数 （児童関連を除く）	2人	2人	3人	3人				5人	平成30年度	
6	CDの所蔵点数	8,754枚	8,843枚	8,924枚	9,077枚				11,000枚	平成30年度	
7	DVDの所蔵点数	663枚	748枚	840枚	920枚				1,500枚	平成30年度	
8	ビジネス・しごと支援コーナーの貸出冊数	13,085冊	12,533冊	11,033冊	10,880冊				20,000冊	平成30年度	
9	ホームページのアクセス回数	103,000件	155,062件	195,789件	212,520件				150,000件	平成30年度	※従来は図書館トップページのみの計測だったが、26年度からは図書館全コンテンツのページを合計
10	学校への調べ学習支援冊数	276冊	236冊	736冊	988件				600冊	平成30年度	
11	福生市に関する図書所蔵数	10,141冊	10,425冊	10,984冊	11,783冊				15,000冊	平成30年度	
12	自己点検・評価	未実施	未実施	未実施	実施				実 施	平成27年度	
13	第三者評価	未実施	未実施	未実施	実施				実 施	平成27年度	図書館協議会を年3回から5回へ
14	市民への公表	未実施	未実施	未実施	実施				実 施	平成27年度	